

令和元年度（2019 年度）陸用内燃機関生産（国内、海外）・輸出中間見通しについて

一般社団法人 日本陸用内燃機関協会

令和元年 7 月下旬より 9 月上旬にかけてエンジンメーカー 20 社を対象にアンケート調査を実施し、令和元年度陸用内燃機関の生産（国内、海外）・輸出中間見通しと平成 30 年度の実績をまとめました。陸用内燃機関生産、輸出見通し調査は当初（2 月調査）、中間（8 月調査）の年 2 回実施しております。尚、ガス機関につきましては、平成 25 年度分より統計資料として取りまとめております。

平成 30 年度の国内生産台数は、ガソリン機関、ディーゼル機関共に輸出の大幅増加に支えられて前年度比大幅に増加し、全体では対前年度比 115.5%の 4,176 千台で、平成 22 年度以来 8 年ぶりに対前年度増加の実績となりました。一方、海外生産台数は、同 98.0%の 10,003 千台と 2 年連続の減少となり、これらにより国内と海外を合わせた生産台数は、同 102.6%の 14,179 千台となりました。なお、ディーゼル機関の国内と海外を合わせた生産台数は同 116.5%の 2,230 千台で、過去最高を更新しました。

平成 30 年度の国内需要動向は、農業従事者減少による農機需要低迷や天候不順による草刈り機需要減、防災用発電機需要の増加等があるものの全体では大きな動きが見られませんでした。一方海外は、米国市場の堅調さと中国建機市場の好調継続、欧州はディーゼルの排出ガス規制前の需要増加があり、これらの輸出に支えられる形で国内生産が大幅に増加しました。

令和元年度の国内需要動向は、東京五輪向け建機需要が一巡し、消費増税の駆け込みと反動も大きくはないと考えられ、全体では大きな動きがない状況です。一方海外は、米国の堅調な需要が見込めるものの、米中貿易摩擦の影響懸念、欧州排出ガス規制反動、欧州政治不安、更に天候不良等も重なり、需要の不安定感が増している状況です。

このような中、令和元年度の国内生産は、ガソリン機関、ディーゼル機関、ガス機関共に減少し、対前年度比 96.8%の 4,042 千台で 2 年ぶりに減少の見通しとなりました。また、海外生産は、ガソリン機関、ディーゼル機関が減少し、同 98.8%の 9,879 千台で 6 年ぶりに 10,000 千台割れの見通しとなりました。これらにより、国内と海外を合わせた生産台数は同 98.2%の 13,921 千台の見通しとなりました。全体の海外生産比率は、ガソリン機関とガス機関の海外生産比率増加により同 0.5 ポイント上昇し 71.0%となる見通しです。

平成 30 年度の実績と令和元年度の中間見通しを以下のようにまとめました。

〔国内生産〕

(1) ガソリン機関

平成 30 年度の国内生産は、台数で対前年度比 114.5%の 2,336 千台、金額は 105.2%の 508 億円の実績です。

令和元年度の国内生産は、台数で同 97.5%の 2,279 千台の見通しで、当初見通しに対して 122 千台減少しました。

(2) ディーゼル機関

平成 30 年度の国内生産は、台数で同 117.2%の 1,745 千台、金額は 120.2%の 5,422 億円の実績です。

令和元年度の国内生産は、台数で同 96.4%の 1,683 千台の見通しで、当初見通しに対して 10 千台減少しました。

(3) ガス機関

平成 30 年度の国内生産は、台数で同 107.2%の 94 千台、金額は 125.7%の 192 億円の実績です。

令和元年度の国内生産は、台数で同 85.4%の 80 千台の見通しで、当初見通しに対して 4 千台増加しました。

以上の結果、平成 30 年度の陸用内燃機関の国内生産台数は、対前年度比 115.5%の 4,176 千台、金額は 118.9%の 6,122 億円の実績となりました。また、令和元年度の国内生産台数は、同 96.8%の 4,042 千台の見通しで、当初見通しに対して 128 千台減少しました。

〔輸出〕

(1) ガソリン機関

平成 30 年度の輸出は、台数で対前年度比 122.7%の 869 千台、金額は 102.9%の 190 億円の実績です。

令和元年度の輸出は、台数で同 68.7%の 597 千台の見通しで、当初見通しに対して 20 千台減少しました。

(2) ディーゼル機関

平成 30 年度の輸出は、台数で同 121.0%の 1,369 千台、金額は 119.8%の 3,493 億円の実績です。

令和元年度の輸出は、台数で同 96.9%の 1,327 千台の見通しで、当初見通しに対して 5 千台減少しました。

(3) ガス機関

平成 30 年度の輸出は、台数で同 98.3%の 60 千台、金額は 108.9%の 87 億円の実績です。

令和元年度の輸出は、台数で同 74.9%の 45 千台の見通しで、当初見通しに対して 5 千台増加しました。

以上の結果、平成 30 年度の陸用内燃機関の輸出台数は、対前年度比 120.9%の 2,298 千台、金額は 118.6%の 3,771 億円の実績となりました。また、令和元年度の輸出台数は、同 85.7%の 1,969 千台の見通しで、当初見通しに対して 19 千台減少しました。

[海外生産]

ガソリンは北米やアジア、ディーゼルはアジアや欧州を中心に海外 9 カ国において、会員企業 10 社が生産を行っています。

(1) ガソリン機関

平成 30 年度の海外生産台数は、対前年度比 97.3%の 9,509 千台の実績です。

令和元年度の海外生産台数は、同 99.4%の 9,452 千台の見通しで、当初見通しに対して 96 千台減少しました。

(2) ディーゼル機関

平成 30 年度の海外生産台数は、同 114.0%の 484 千台の実績です。

令和元年度の海外生産台数は、同 85.6%の 415 千台の見通しで、当初見通しに対して 13 千台増加しました。

(3) ガス機関

平成 30 年度の海外生産台数は、同 143.8%の 10 千台の実績です。

令和元年度の海外生産台数は、同 130.5%の 13 千台の見通しで、当初見通しに対して 4 千台増加しました。

以上の結果、平成 30 年度の陸用内燃機関の海外生産台数は、対前年度比 98.0%の 10,003 千台の実績となりました。また、令和元年度の陸用内燃機関の海外生産台数は、同 98.8%の 9,879 千台の見通しで、当初見通しに対して 80 千台減少しました。

[国内・海外生産合計]

(1) ガソリン機関

平成 30 年度の国内・海外生産合計台数は、対前年度比 100.2%の 11,845 千台の実績です。

令和元年度の国内・海外生産合計台数は、同 99.0%の 11,730 千台の見通しで、当初見通しに対して 218 千台減少しました。

(2) ディーゼル機関

平成 30 年度の国内・海外生産合計台数は、同 116.5%の 2,230 千台の実績です。

令和元年度の国内・海外生産合計台数は、同 94.1%の 2,098 千台の見通しで、当初見通しに対して 3 千台増加しました。

(3) ガス機関

平成 30 年度の国内・海外生産合計台数は、同 109.8%の 104 千台の実績です。

令和元年度の国内・海外生産合計台数は、同 89.7%の 93 千台の見通しで、当初見通しに対して 8 千台増加しました。

以上の結果、平成 30 年度の陸用内燃機関の国内・海外生産合計台数は、対前年度比 102.6%の 14,179 千台の実績となりました。また、令和元年度の国内・海外生産合計台数は、同 98.2%の 13,921 千台の見通しで、当初見通しに対して 208 千台減少しました。

また、令和元年度の海外生産比率は、ガソリン機関が、同 0.3 ポイント上昇し 80.6%、ディーゼル機関が 1.9 ポイント低下し 19.8%となり、ガス機関を合わせた全体では 0.5 ポイント上昇し 71.0%となる見通しです。

以上

2019(令和1)年度陸用内燃機関生産(国内、海外)・輸出中間見通し:年度ベース

一般社団法人日本陸用内燃機関協会
会員アンケートの集計値

国内生産

台数(単位:千台)

品目群	2017(H29)年度	2018(H30)年度		2019(令和1)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	2,040	2,336	114.5%	2,279	97.5%
ディーゼル機関	1,489	1,745	117.2%	1,683	96.4%
ガス機関	88	94	107.2%	80	85.4%
合計	3,616	4,176	115.5%	4,042	96.8%

金額(単位:百万円)

品目群	2017(H29)年度	2018(H30)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)
ガソリン機関	48,276	50,798	105.2%
ディーゼル機関	451,180	542,238	120.2%
ガス機関	15,261	19,190	125.7%
合計	514,717	612,226	118.9%

輸出

台数(単位:千台)

品目群	2017(H29)年度	2018(H30)年度		2019(令和1)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	709	869	122.7%	597	68.7%
ディーゼル機関	1,131	1,369	121.0%	1,327	96.9%
ガス機関	61	60	98.3%	45	74.9%
合計	1,901	2,298	120.9%	1,969	85.7%

金額(単位:百万円)

品目群	2017(H29)年度	2018(H30)年度	
	実績	年度実績見込み	前年度比(%)
ガソリン機関	18,493	19,034	102.9%
ディーゼル機関	291,497	349,302	119.8%
ガス機関	8,019	8,736	108.9%
合計	318,009	377,071	118.6%

海外生産

台数(単位:千台)

品目群	2017(H29)年度	2018(H30)年度		2019(令和1)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	9,776	9,509	97.3%	9,452	99.4%
ディーゼル機関	425	484	114.0%	415	85.6%
ガス機関	7	10	143.8%	13	130.5%
合計	10,208	10,003	98.0%	9,879	98.8%

国内・海外生産合計

台数(単位:千台)

品目群	2017(H29)年度	2018(H30)年度		2019(令和1)年度	
	実績	年度実績	前年度比(%)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	11,816	11,845	100.2%	11,730	99.0%
ディーゼル機関	1,914	2,230	116.5%	2,098	94.1%
ガス機関	95	104	109.8%	93	89.7%
合計	13,824	14,179	102.6%	13,921	98.2%

海外生産比率

品目群	2017(H29)年度	2018(H30)年度		2019(令和1)年度	
	実績	年度実績	前年度比(ポイント)	年度見通し	前年度比(%)
ガソリン機関	82.7%	80.3%	-2.4	80.6%	+0.3
ディーゼル機関	22.2%	21.7%	-0.5	19.8%	-1.9
ガス機関	7.2%	9.5%	+2.3	13.8%	+4.3
合計	73.8%	70.5%	-3.3	71.0%	0.5

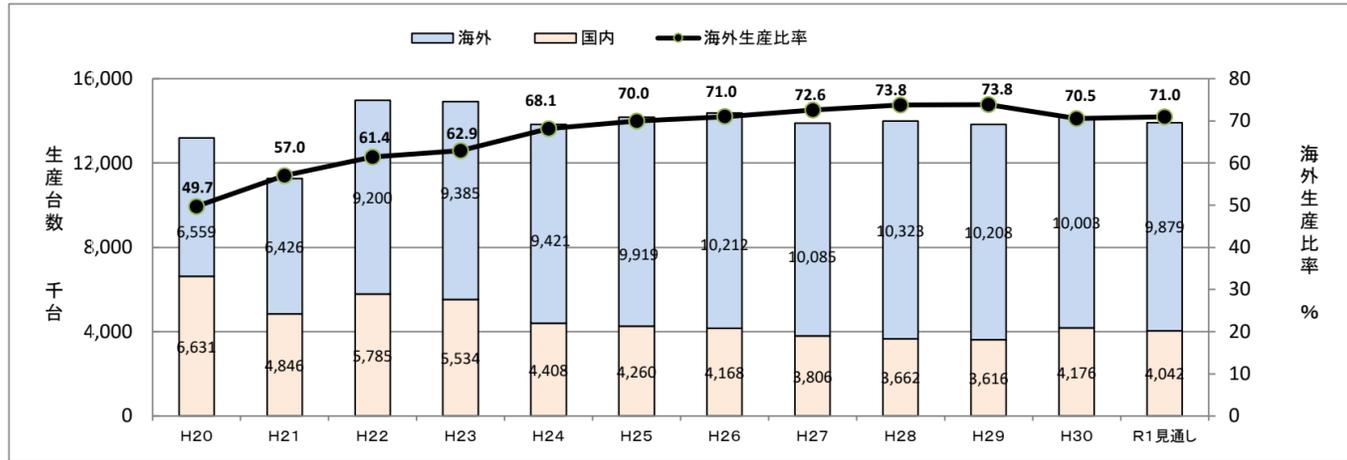
注記)表中の台数は百の桁を四捨五入して千台単位で、金額は10万円の桁を四捨五入して百万円単位で表示しています。
海外生産台数との重複を避けるため、国内生産台数にはKD生産台数が含まれていません。

国内生産台数と海外生産台数の推移〔H20～R1(2019)年度〕【単体エンジン】 中間見通し

1. ガソリン、ディーゼル、ガス 合計

R1.10.1

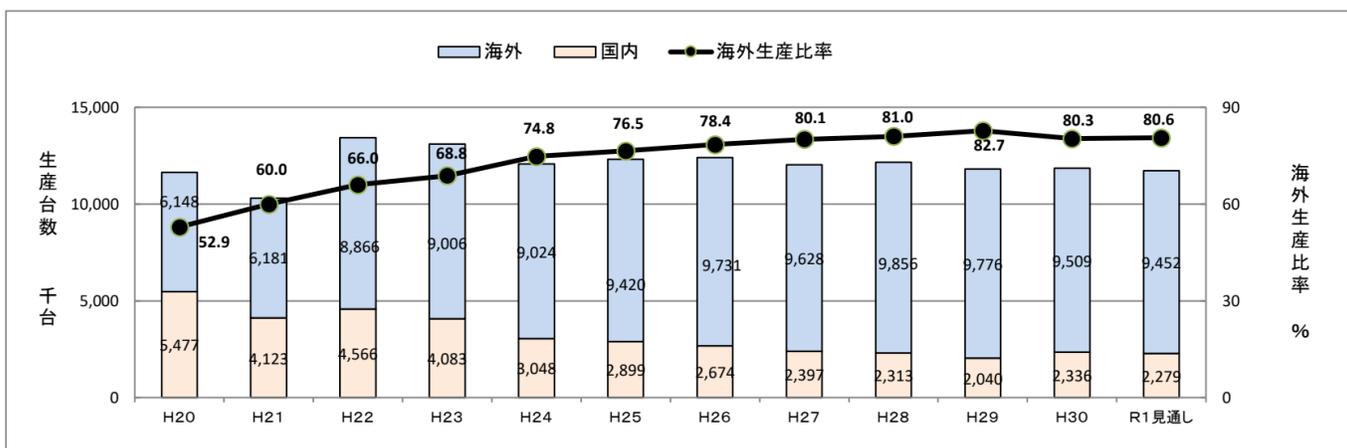
平成30年度は8年ぶりに国内生産台数が前年度比で増加したが、令和元(2019)年度は国内生産、海外生産台数共に減少し、合計で98.2%の13,921千台の見通し。



合計	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1見通し
国内	6,631	4,846	5,785	5,534	4,408	4,260	4,168	3,806	3,662	3,616	4,176	4,042
海外	6,559	6,426	9,200	9,385	9,421	9,919	10,212	10,085	10,323	10,208	10,003	9,879
合計	13,190	11,272	14,985	14,919	13,829	14,179	14,380	13,891	13,985	13,824	14,179	13,921
海外生産比率	49.7	57.0	61.4	62.9	68.1	70.0	71.0	72.6	73.8	73.8	70.5	71.0

2. ガソリンエンジン

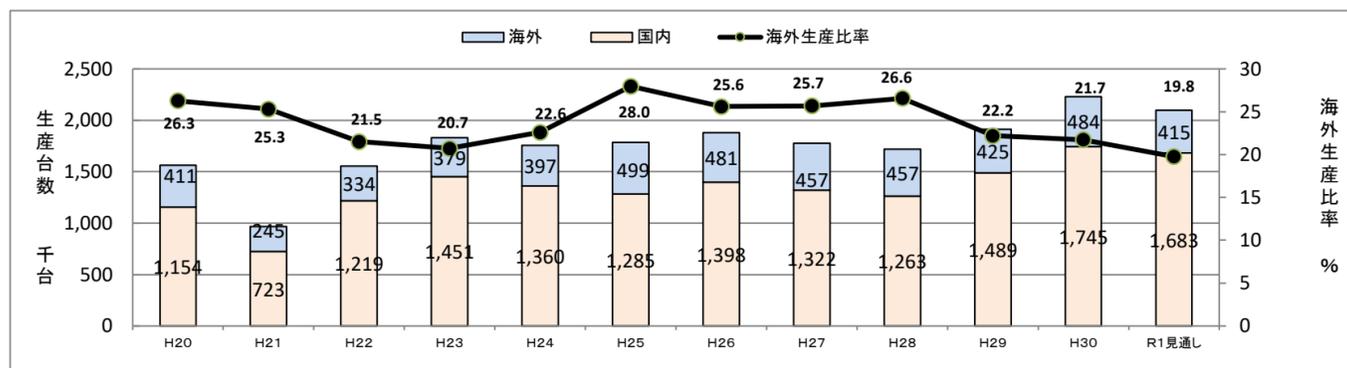
令和元(2019)年度は、国内生産、海外生産ともに減少する見通し。



ガソリン	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1見通し
国内	5,477	4,123	4,566	4,083	3,048	2,899	2,674	2,397	2,313	2,040	2,336	2,279
海外	6,148	6,181	8,866	9,006	9,024	9,420	9,731	9,628	9,856	9,776	9,509	9,452
合計	11,625	10,304	13,432	13,089	12,072	12,319	12,405	12,025	12,169	11,816	11,845	11,730
海外生産比率	52.9	60.0	66.0	68.8	74.8	76.5	78.4	80.1	81.0	82.7	80.3	80.6

3. ディーゼルエンジン

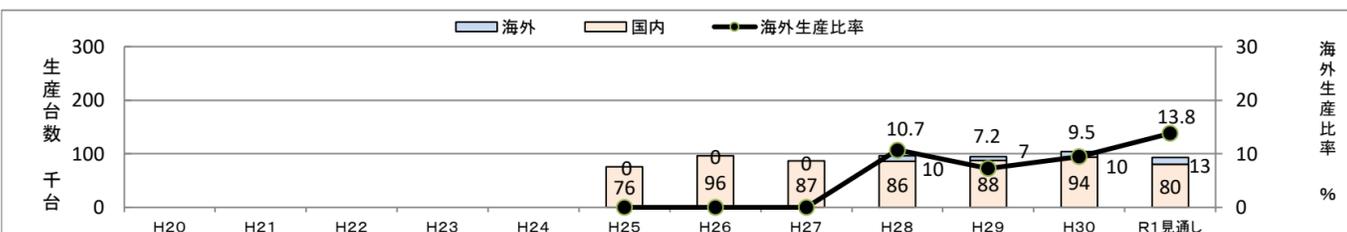
令和元(2019)年度は、国内生産、海外生産ともに減少し、合計台数は3年ぶりに前年度比減少の見通し。



ディーゼル	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1見通し
国内	1,154	723	1,219	1,451	1,360	1,285	1,398	1,322	1,263	1,489	1,745	1,683
海外	411	245	334	379	397	499	481	457	457	425	484	415
合計	1,565	968	1,553	1,830	1,757	1,784	1,879	1,779	1,720	1,914	2,230	2,098
海外生産比率	26.3	25.3	21.5	20.7	22.6	28.0	25.6	25.7	26.6	22.2	21.7	19.8

4. ガスエンジン

H25年度から統計を取っている。海外生産比率は10%レベルでやや増加傾向。



ガス	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1見通し
国内						76	96	87	86	88	94	80
海外						0	0	0	10	7	10	13
合計						76	96	87	96	95	104	93
海外生産比率						0	0	0	10.7	7.2	9.5	13.8